

「ぐんまインクルーシブアート研究会2024」第6回講座のご案内 〈参加自由・無料〉  
**映画「手でふれてみる世界」上映会&トーク**



**手から伝わる世界のかたちとは**—イタリアのオメロ触覚美術館 ※) を創設した視覚障害の老夫妻を中心に展開するドキュメンタリー映画です。 視覚優位の美術鑑賞から解放され、作品に触れる美術館の活動は、インクルーシブな学びの場にどのような可能性をもたらしたのか。

上映後、岡野晃子監督と跡見学園女子大学教授・茂木一司氏によるトークを予定。

**日時： 11月 2 日 ( 土 ) 午後 1 時30分～ 3 時**

講師：岡野晃子氏 [ 監督 ] / 茂木一司氏 [ 跡見学園女子大学教授 ]

対象：一般 定員：先着 100人 参加方法：申込不要、無料

会場：群馬県社会福祉総合センター8階大ホール講堂（新前橋駅から徒歩5分）

※本上映会は、ユニバーサル上映（日本語字幕、音声解説付き）となっており、見える人、見えにくい人、見えない人、聞こえない人、すべての人が同じ映画を鑑賞できます。視聴覚に障害のある方もお問い合わせの上、ぜひご参加ください。

【問い合わせ】 一般社団法人メノキ（〒370-2624 群馬県甘楽郡下仁田町東野牧2635-1）

Tel. & Fax. 0274-67-5992 E-mail: info@inclusive-art.com

※) オメロ触覚美術館 全盲の、アルド・グラッシーニ館長とダニエラ・ボッテゴニさん夫妻がマルケ州の支援を受けて1993年に開館。後に国立美術館となった。ミケランジェロの複製や現代作家の作品など、彫刻を中心に展示している。夫妻は世界80カ国以上を旅して、それぞれの文化が生み出してきたもの、自然や生きものに手で触れながら世界と出会ってきた。しかしながら、どの国を訪れても美術館で作品を鑑賞することだけは困難だった。

ならば自分たちで、見える人も見えない人も、ともに美術作品に手で触れて鑑賞できる美術館をつくらうと、夫妻は自ら行動し、「オメロ触覚美術館」を創設する。子どもから大人まで、視覚に障害がある人もない人も訪れる、すべての人に開かれた美術館となった。そこで働く人、訪れる人、かかわる人々は、「美術館とは何か」を静かに語りかけてくる。